

# 学力向上推進計画

## 1 目 標

「確かな学力を身に付け、主体的に学習に取り組む児童の育成」

## 2 基本方針

学力の向上の取組の重点を「学びの質を高める授業改善・学校改善」におき、小・中・高・特支が連携し、系統的に指導することで、子ども達に確かな学力を育む事ができると考える。以下の2点を基に授業改善を推進し学力向上を図る。

1 目指す資質・能力を明確にして授業改善を推進する。

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度（自ら学習を調整・粘り強さ等）」

2 「自己肯定感の高まり」「学び、育ちの実感」「組織的関わり」の3つの視点、「学びの質を高める授業改善・学校改善を大切にする。

（学力向上推進5ヵ年プラン・プロジェクトⅡ取組の重点より）

## 3 推進の視点

### （1）めざす授業像の共有

これから必要とされる資質・能力を育成するために、めざす授業像（他者と関わりながら、課題の解決に向かい「問い」が生まれる授業）を共有しめざす子どもの姿が実現できるよう学びを支援する授業を展開する。

### （2）教材研究の充実

授業改善を計画的・継続的に推進していくとともに、「学び続ける教師」として実践を積み上げ授業力を高めていくためには、教師一人一人がカリキュラム・マネジメントを意識し、多様な教材研究の方法を職員間で共有し、組織的に教材研究を進めていくことが重要である。

### （3）学力向上マネジメントの推進（共有・浸透）

全ての教職員が学力向上の具体的な到達目標を共有し取組を徹底、連動していくことで実践意欲を高め学校全体で授業改善を推進し児童生徒の学力の向上を図る。

### （4）学習を支える力の育成

①規範意識・マナーの向上 ②学習環境の充実 ③読書活動の充実 ④家庭学習の習慣化  
⑤生活リズムの確立 ⑥対話の充実 ⑦体験活動の充実

### （5）集団づくり・自主性を高める取組の充実

①支持的風土をつくる学級経営  
②生徒指導の3つのポイントをいかした授業（自己存在感・共感的人間関係・自己決定の機会）  
③学びに向かう集団づくりを進める学級活動及び児童会活動

### （6）教育行政による効果的な支援体制の構築

学校における授業改善の取組の充実を図るためには、教育行政による効果的な学校支援体制を構築する必要がある。教育行政を担う各機関はそれぞれの施策の浸透を図るとともに学校現場を第一に考える直接的な学校支援を重視する。

## 4 学力向上推進プロジェクトⅡ 5つの方策

（1）日常化する〔質的授業改善〕

（2）そろえる〔組織的共通実践〕

（3）支える〔発達の支援〕

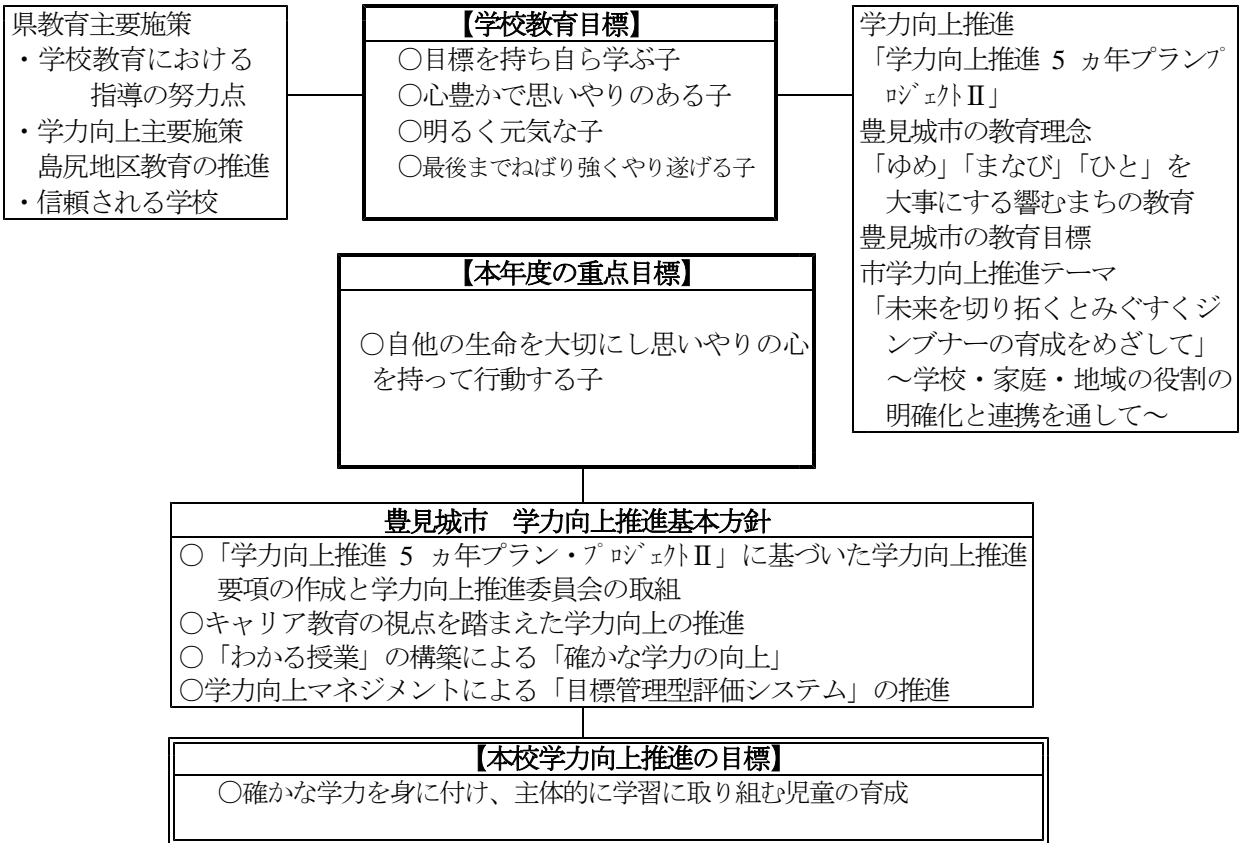
（4）見通す〔学校組織マネジメント〕

（5）つなぐ〔学校連携・地域連携〕

## 4 取り組みの重点

- (1) 他者と関わりながら、課題の解決に向かい「問い」が生まれる授業。
- (2) 多様な教材研究の方法を職員間で共有した組織的な教材研究。
- (3) 基本的な生活リズムの確立と家庭学習の推進。
- (4) 読書活動の推進。

## 5 全体推進計画



学力向上推進の具体的取組		
<p><b>1 「学習を支える力」の育成</b></p> <p><u>①学習環境の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の準備</li> <li>・黙想、ベル始業、</li> <li>・話す力、聞く態度の育成</li> </ul> <p><u>②規範意識・マナーの向上</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ、返事の習慣化</li> <li>・他人を思いやる心や認め合う心を育てる。</li> </ul> <p><u>③家庭学習の習慣化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業と連動した宿題</li> <li>・自主学習(自学自習力の育成)</li> <li>・リレーノート</li> </ul> <p><u>④読書活動の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館を活用し主体的・目的的な読みの力を培うとともに、読書をする習慣を身に付け豊かな心を育む。</li> </ul> <p><u>⑤生活リズムの定着</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早寝・早起き・朝ごはん・てくてく登校の奨励</li> </ul>	<p><b>2 「授業改善」の取組</b></p> <p><u>①めざす授業像の共有</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの問いを引き出す課題の提示</li> <li>・子どもの問いを生かしためあての設定</li> <li>・見通しを持ちめざすゴール(評価基準)をイメージさせる工夫や自己肯定感を高める個人内評価の取組の推進</li> <li>・めあてと正対したまとめ・振り返りの確実な実施。</li> </ul> <p><u>②教材研究の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材研究ノート(マイノート)</li> <li>・学力調査などの結果分析資料などの活用。</li> <li>・見とる評価の視点や視点をそろえる取組</li> </ul> <p><u>③集団づくり自主性を高める取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支持的風土をつくる学級経営</li> <li>・学級活動や児童会活動などの充実</li> <li>・生徒指導の3つのポイントを生かした授業の日常化を図る。</li> </ul>	<p><b>3 「教育資源」の活用</b></p> <p><u>①地域教育資源の活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会教育主事等連絡協議会や市地域学校協働本部等との連携</li> <li>・学校評議員との連携</li> </ul> <p><u>②キャリア教育の効果的な実践</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年に応じたキャリア教育</li> <li>・夢、目標をを持たせる取組</li> </ul> <p><u>③PTCA との連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進応援部の取組</li> <li>・朝の読み聞かせ</li> </ul> <p><u>④児童用タブレットの活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別最適な学びの推進</li> </ul>

## 6. 年間活動計画

月		実 践 内 容	担 当
4	初旬	学力向上推進計画の検討	校長 教頭 学推部
		なないろ週間(全校統一学級指導)	全学年
	初旬	レディネスを揃える取組み	6学年
	中旬	目標の設定、各学年の具体的な取組み	学推部 全学年
		全国学力・学習状況調査 学力向上月間①(生活リズムの確立)	6学年 全学年
5	中旬	豊崎っ子生活カレンダーの実施①	全学年, 学推部
6		読書旬間	国語部
		学校説明会	校長 教頭 学推部
		学びのたしかめ	4～5年
7	中旬	夏休み前漢字力テスト	2～6年
		夏休み補習	全学年
		学推・校内研修会(全国学習調査の分析、反省と今後の取組確認)	全学年
8		学推・校内研修会	全学年, 学推部
		なないろの週間	全学年
9	初旬	学力向上月間②(基本的な生活リズム定着月間)	全学年
10		なないろの週間	全学年
		読書月間	国語部
11	初旬	基本的な生活習慣についてのアンケート実施(児童・教師)②	生徒指導部
	中旬	豊崎っ子生活カレンダーの実施②	全学年, 学推部
12		市学力調査	1～6学年
	中旬	冬休み前漢字まとめテスト	全学年
1		なないろ週間	全学年
		学推研修会(市学力調査・アンケート分析、今後の取組み)	全学年
		学力向上月間③(学習ステップアップ月間1月～3月)	
		島尻地区実践報告書・豊見城市実践報告書提出	学推主任
		県学力到達度調査に向けての補習指導	5学年他
2	上旬	県学力到達度調査	5・6学年
		学力向上実践報告(保護者対象)	教務主任, 学推主任
3	初旬	年度末漢字テスト	全学年
	初旬	学年の総復習	全学年
		反省と評価・次年度計画(2月の計画会で計画、3月は確認)	各学年・学推主任
		全国学力・学習状況調査に向けての補習指導	5学年